

の意向を踏まえつつ、どのように対応の判断をするのか伺う。

高薄町長

今回の法改正により、訪問・通所サービスを市町村の判断で「総合事業」に移行すると、各市町村によって提供するサービスに格差が生じてくる心配がある。

財政措置など、詳細はまだ不透明な状態であるが、利用者の負担増につながるように、国への要請活動を強めていきたい。

農・商・工の連携によるまちづくり

中島里司議員

町内の関係企業や経済団体が協力し、まちづくりに知恵を出し合う時期であると思われる。高速道路も秋には道央へ開通し、十勝清水ICの利用・役割について、十勝管内から期待されている。



夕張・占冠間の高速道路は秋に開通予定、十勝清水ICの利用増が期待される。地域活性化につなげていきたい。

物産等の情報を民間の力で発信できるように町長のリーダーシップで組織化し、また、そこで十勝管内の観光、物産の情報もわかるようにしてはいか

高薄町長

現在まで、商工会・JAなど町内の団体で構成する経済活性化戦略会議を設置し、商店街の空き店舗対策等さまざまな事業につなげてきた。

これからは、生産者と商業者が協力し、新たな商品・サービスの開発などの

充実を図っていくことも必要だと考えている。

また、夕張・占冠間の高速道路が開通となれば、十勝清水ICの利用者の増加が見込まれる。本町をはじめ、十勝の観光客増加につなげるためにも、物産協会のような団体を新たに組織して、物産を広く紹介していく必要があると思

っている。関係機関と協議していきたい。

地域密着型小規模特別養護老人ホームの設置

佐藤幸一議員

特別養護老人ホームの待機者のうち、町民の待機者が100名を超えている。実に人口の1%以上である。そこで、町民のみが入居できる「地域密着型小規模特別養護老人ホーム」を町内に設置する考えはないか伺う。

高薄町長

現在、特別養護老人ホー

ムへの入居は制度上、町民を優先的に入居させることはできない。

地域密着型であれば、町民のための施設ではあるが、設置に伴う国の助成制度が平成26年度までとなっている。

今後の財政計画と照らし合わせながら、設置についての検討をしていきたい。



しみず温泉フロイデの現状は

佐藤幸一議員

昨年、しみず温泉フロイデの温泉棟入浴施設は閉鎖したままとなっている。

この状態は売買契約時の条項に反しないのか。再開の見込みと、現在ま

で、町としてどのような対応をしてきたのか伺う。

高薄町長

温泉の売買契約時には、「町民等が温泉に入浴できる用途に一部供しなければならぬ」「5年間は第三者に所有権の移転・貸付けをしてはならない」という条件をつけている。

温泉棟の早期再開について、相手側会社に文書で要請をしているが、回答はまだ届いていない。今後も引き続き、弁護士と相談しながら、再開の要請を行っていく。

公設ドッグランの設置を

安田 薫議員

苫小牧市で初の公設ドッグランが好評で、愛犬の散歩や運動に訪れる飼い主が相次いでいると聞いている。

犬と共に旅行する人

めにも、夢ある構想の一部になると思いますが、公設ドッグラン設置についての考えを伺う。

高薄町長

ドッグランを設置するとなれば、駐車場やトイレ等の整備もしなければならぬため、多額の経費が必要となる。本町では、すでに民営でドッグラン施設の開設がされている。

今後も、物産・観光を含めた振興策を協議していくが、そのなかで設置が必要となれば検討していきたい。

東日本大震災発生に伴う本町行財政への影響

西山輝和議員

東日本大震災発生に伴い、被災地復興に向け、国民一体となった取り組みが求められており、今後の地方交付税などにも影響が出てくると予測される。次の点について伺う。